

技術・家庭（技術分野）

東京書籍
教育図書
開隆堂出版

採択基準	基本観点	発行者名		
		2 東書	6 教図	9 開隆堂
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	全体としての特徴や創意工夫 別表 1	ガイダンス的内容に関する資料のページでは、問題解決のプロセスが整理されている。 「見方・考え方」については、ガイダンスにおいて「技術のめがね」「最適化の窓」で社会における技術を見ることで気付きが得られるようになっており、各編の導入において、身の回りの製品を取り上げ、既存の技術の工夫を読み取ることができるように工夫されている。「見方・考え方」に関する資料は 37 項目が掲載されている。 学習内容が、身の回りの問題解決から社会の問題解決まで幅広く収載されている。統合的な問題解決については、具体例が掲載されている。	ガイダンス的内容に関する資料のページでは、小学校との学習の連携を図りながら、社会はさまざまな技術によって支えられていることが示されている。 「見方・考え方」については、ガイダンスで触れた上で、各編の 2 章において、「問題発見」→「課題設定」→「課題解決」に取り組む一連の流れから、技術の「見方・考え方」を形成できるようにしている。「見方・考え方」に関する資料は 25 項目が掲載されている。 各編の 1 章、2 章、3 章が、学習指導要領の (1)、(2)、(3) に対応しており、評価の行いやすい構成になっている。	ガイダンス的内容に関する資料のページでは、身の回りの製品を挙げながら、技術分野の学習の流れと問題解決について示されている。 「見方・考え方」については、ガイダンスで取り上げ、各内容でそれを深めるようになっている。「見方・考え方」に関する資料は 40 項目が掲載されている。 各内容とも「導入」→「基礎学習」→「展開」→「まとめ・評価」の順で掲載されている。統合的な問題解決については、具体例が掲載されている。
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮 別表 2	基礎的・基本的な知識や技能については「技術のとびら」「TECH Lab」でまとめられている。 基本的な用語数（索引に収録されている数）は A：105 語、B：61 語、C：103 語、D：73 語である。 安全については巻頭に「作業を安全に楽しく進めよう」が示されており、各章での安全や衛生のポイントは「安全」マーク、「衛生」マークを付けて、生徒の注意を喚起している。	「見つける」で学習意欲を喚起、「学ぶ」で自主的に学習、「ふり返る」で学習理解の確認ができる。 技能資料は別冊の「スキルアシスト」にまとめて掲載されている。 基本的な用語数（索引に収録されている数）は A：86 語、B：38 語、C：76 語、D：91 語である。 安全については、ガイダンスでまとめており、安全や衛生のポイントは「安全」マーク、「衛生」マークで注意を喚起している。	各内容とも初めに基礎的・基本的な知識や技能を学ぶ流れになっており、各小項目の最後に設けられた「CHECK」によって自己の学びを調整できるようになっている。 基本的な用語数（索引に収録されている数）は A：98 語、B：53 語、C：73 語、D：113 語である。 安全については、ガイダンスでまとめており、安全のポイントは「安全」マークで注意を喚起している。
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮 別表 3	問題解決の内容の題材が 29 項目紹介されている。問題解決例のページは、問題解決のプロセスに沿った紙面構成となっており、自らの問題解決に主体的に取り組むことができるようになっている。 各編の最終章には、持続可能な社会の構築に向けて、生徒自身が考えられるようなワークシートが掲載されている。	問題解決の内容の題材が 35 項目紹介されている。問題解決の流れについては、生徒に親しみのある漫画で説明されており、問題解決例のページでは、手順を丁寧に示している。 各編の最終章にある「社会の発展と技術」では、技術のプラス面とマイナス面について生徒自らが考え判断できる内容となっている。	問題解決の内容の題材が 26 項目紹介されている。各編で問題解決の流れが丁寧に説明されており、問題解決例のページにおいても、先に説明された流れがそのまま示されている。 各編の「学習のまとめ」に「社会の発展」を考えるようなワークシートが掲載されている。
	(3) 生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮 別表 4	各編末には「学習のまとめ」のページがあり、評価の観点である「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」について、学習内容の定着を確認できるようになっている。 各編に実習例を複数（54 項目）示し、各学校の状況に応じて題材を選べるよう配慮されている。	各編末には「まとめ」のページがあり、評価の観点である「知識・技能」「思考・判断・表現」について、学習内容の定着を確認できるようになっている。 各編に実習例を複数（25 項目）示し、各学校の状況に応じて題材を選べるよう配慮されている。	各編末には「学習のまとめ」のページがあり、学習内容のふり返り、定着を確認できるようになっている。 各編に実習例を複数（32 項目）示し、各学校の状況に応じて題材を選べるよう配慮されている。

教科・種目名 技術・家庭（技術分野）

採択基準	基本観点	発行者名		
		2 東書	6 教図	9 開隆堂
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い 別表5	巻末には「学んだことを社会に生かす」を設け、技術分野の学習内容を広げて将来に生かしてほしいというメッセージが掲載されている。	各編の終末には「スゴ技」「技ビト」マークで発展的な内容の掲載があり、巻末の「先輩からのメッセージ」では高等学校の専門分野についても触れられている。	生徒の意欲や興味・関心に応えられるように、「発展」マークを付して示されている。
	(5) 他の教科等との関連 別表6	随所に「小学校」「他教科」マークを付して、他教科と学年及び学習内容の関連を示している（18項目）。 特別の教科 道徳については「まとめと発表の仕方ポイント」「生物育成の技術と環境との関わり」「情報セキュリティと情報モラル」の内容で記載している（3項目）。	随所に「関連」マークを付して他教科との関連を示している（15項目）。 特別の教科 道徳については「情報セキュリティと情報モラル」の内容で記載している（1項目）。	各内容のとびらページで小学校や他教科とのつながりを示している（28項目）。 特別の教科 道徳については「コンピュータやスマートフォンなどを使うときに注意すること」「情報機器を使った、生活や社会とのかかわり方」「生物育成がもたらす多面的な機能」の内容で記載している（3項目）。
3 使用上の便宜が工夫されていること。	表記・表現の工夫 別表7	写真やイラスト、資料は充実している。学習の流れを全ページ統一することで見やすいレイアウトになっている。また、すべての書体に、ユニバーサルデザインフォントを使用し、幅広い色覚特性に適応できるような配色とデザインになっており、小学校で学習していない全ての漢字にふりがながついている。 各編に「★印」で脚注（計61箇所）が挿入されており、理解が深まるように工夫されている。 様々な種類の二次元コードコンテンツが412箇所用意されており、個別最適な学びや協働的な学びに活用できるようになっている。	写真やイラスト、資料は充実している。文字が大きく、重要語句を青色の太字にし、紙面の構成が統一されたレイアウトになっており、見やすいように工夫されている。書体はユニバーサルデザインフォントを使用し、カラーバリアフリーの観点から配色が考えられている。見開きごとに必要な漢字にはふりがなを振っている。 各編に「★印」で脚注（計87箇所）が挿入されており、理解が深まるように工夫されている。 様々な種類の二次元コードコンテンツが121箇所用意されており、個別最適な学びに活用できるようになっている。 別冊「スキルアシスト」が付属している。	写真やイラスト、資料は充実している。単語が途中で改行されないようにレイアウトしており、単語を認識しやすくしている。全面的にユニバーサルデザインフォントを使用し、本文では明朝系、図や参考ではゴシック系などを使い分けており、色覚に特徴のある生徒にも配慮したカラーユニバーサルデザインを使用している。弱視の特性があっても見やすいように文章を大きめのゴシック体にしたり、余計な色を省略したりしている。 各編に「*印」で脚注（計20箇所）が挿入されており、理解が深まるように工夫されている。 様々な種類の二次元コードコンテンツが400箇所以上用意されており、個別最適な学びに活用できるようになっている。

調査項目	発行者名		
	2 東書	6 教図	9 開隆堂
3年間を見通した学習内容をイメージさせるための、ガイダンスに関する資料等の内容	<ul style="list-style-type: none"> ◇ようこそ技術の世界へ（目次 1、2） ◇技術分野 目次（目次 3、P1） ◇教科書の構成と使い方（P2、P3） ◇デジタルコンテンツを活用しよう（P4、P5） ◇技術分野の学習方法（P6、P7） ◇作業を楽しく安全に進めよう（P8、P9） ◇SDGs と Technology（P10、P11） ◇工夫・創造の力が技術を支える（P12、P13） ◇技術は夢をかなえるためにある（P14、P15） ◇技術の「見方・考え方」（P16、P19） ◇未来を創る技術による問題解決（P20、P21） ◇私たちが取り組む問題解決（P22、P23） ◇技術分野の学習を始めよう（P24、P25） <p>（13 項目）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇技術（Technology）を見つけよう！（目次 1、2） ◇技術ではどんなことを学ぶのかな？（目次 3、P1） ◇学習内容への道案内【目次】（P2、P3） ◇それぞれどんな技術があるかな？（P4、P5） ◇技術の力でだれもが暮らしやすい社会を創る（P6、P7） ◇技術の問題解決ってなに？（P8、P9） ◇この教科書の使い方（P10、P11） ◇学習を楽しく安全に進めるために（P12、P13） <p>（8 項目）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ようこそ、新たな学びへ！ようこそ、技術の世界へ！（目次 1、4） ◇企業では、どのように製品開発を行っているのかな？（目次 5、P1） ◇もくじ 技術・家庭 技術分野（P2、P3） ◇SDGs の目標実現のために、技術ができることはなんだろう？（P4、P5） ◇技術の学習を始める前に（P6、P7） ◇技術の役割（P8、P9） ◇身の回りの製品の技術（P10、P11） ◇技術の見方・考え方（P12、P13） ◇技術分野の学習の流れ（P14、P15） ◇問題解決の流れ（P16、P17） ◇作業の安全（P18、P19） ◇コンピュータやスマートフォンを使うときに注意すること（P20、P21） ◇情報機器を使った、生活や社会とのかかわり方（P22、P23） ◇よりよい生活や社会に向けて、つくられ、工夫されていく技術（P24、P25） <p>（14 項目）</p>
技術の見方・考え方を働かせることに関する資料等の内容	<ul style="list-style-type: none"> ◇技術の見方・考え方（P16、P19） ◇材料と加工の技術（P26） ◇材料の特性と加工方法（P30、P31） ◇材料と加工の技術の問題解決の工夫（P54、P55） ◇思いを形にするプロダクトデザイン（P56、P57） ◇問題の発見と課題の設定（P58、P59） ◇問題解決の評価、改善・修正（P70、P71） ◇材料と加工の技術による問題解決例（P72、P77） ◇材料と加工の技術の最適化（P78、P79） ◇これからの材料と加工の技術（P80、83） ◇生物育成の技術（P88） ◇作物の栽培（P96、P97） ◇生物育成の技術の問題解決の工夫（P104、P105） ◇問題の発見と課題の設定（P106、P107） ◇問題解決の評価、改善・修正（P118、P119） 	<ul style="list-style-type: none"> ◇技術の問題解決ってなに？（P8、P9） ◇材料と加工の技術の工夫を調べ考えよう（P30、P31） ◇問題を解決する流れを考えよう（P36、P37） ◇身近な問題を解決してみよう（P42、P45） ◇2章で学んだことをまとめよう（P64、P65） ◇社会の発展と材料と加工の技術（P66、P68） ◇生物を育てる技術の工夫を調べ考えよう（P80、P81） ◇問題を解決する流れを考えよう（P86、P87） ◇身近な問題を解決してみよう（P90、P91） ◇2章で学んだことをまとめよう（P106、P107） ◇社会の発展と生物育成の技術（P108、P110） ◇さまざまな発電方式（P121） ◇エネルギーを変換する技術の工夫を調べ考えよう（P132、P133） ◇問題を解決する流れを考えよう（P138、P139） 	<ul style="list-style-type: none"> ◇資格企業では、どのように製品開発を行っているのかな？（目次 5、P1） ◇技術の見方・考え方（P12、P13） ◇技術分野の学習の流れ（P14、P15） ◇問題解決の流れ（P16、P17） ◇製品を見てみようー材料と加工の技術の見方・考え方ー（P27） ◇身の回りにおける材料と加工の技術（P28、P29） ◇材料と加工の技術の見方・考え方で既存の製品を読み解こう（P48、P49） ◇問題解決の流れ（P50、P51） ◇問題の発見と課題の設定（P52、P53） ◇構想と設計（P54） ◇実習例（P62、P73） ◇材料と加工の技術 問題解決の評価・改善（P74、P75）

調査項目	発行者名		
	2 東書	6 教図	9 開隆堂
	<ul style="list-style-type: none"> ◇生物育成の技術による問題解決例 (P120、P125) ◇生物育成の技術の最適化 (P126、P127) ◇これからの生物育成の技術 (P128、P131) ◇エネルギー変換の技術 (P136) ◇発電方法の最適化 (P142、P143) ◇エネルギー変換の技術の問題解決の工夫 (P166、P167) ◇問題の発見と課題の設定 (P168、P169) ◇問題解決の評価、改善・修正 (P178、P179) ◇エネルギー変換の技術による問題解決例 (P182、P187) ◇エネルギー変換の技術の最適化 (P188、P189) ◇これからのエネルギー変換の技術 (P190、P193) ◇情報の技術 (P198) ◇情報の技術の問題解決の工夫 (P218、P219) ◇問題の発見と課題の設定 (P224、P225) ◇問題解決の評価、改善・修正 (P230、P231) ◇双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決例 (P232、P237) ◇問題の発見と課題の設定 (P242、P243) ◇問題解決の評価、改善・修正 (P248、P249) ◇計測・制御のプログラミングによる問題解決例 (P250、P255) ◇情報の技術の最適化 (P256、P257) ◇これからの情報の技術 (P258、P261) ◇総合的な問題解決例 (P268、P271) <p>(37 項目)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇身近な問題を解決してみよう (P144、P145) ◇2章で学んだことをまとめよう (P166、P167) ◇社会の発展と生物育成の技術 (P168、P170) ◇情報の技術の工夫を調べ考えよう (P188、P189) ◇問題を解決する流れを考えよう (P196、P197) ◇身近な問題を解決してみよう (P200、P201) ◇2章で学んだことをまとめよう (P218、P219) ◇問題を解決する流れを考えよう (P222、P223) ◇身近な問題を解決してみよう (P226、P227) ◇3章で学んだことをまとめよう (P240、P241) ◇社会の発展と情報の技術 (P242、P244) <p>(25 項目)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇これからの材料と加工の技術 (P98、P101) ◇生物を見てみよう－生物育成の技術の見方・考え方－ (P107) ◇身の回りにおける生物育成の技術 (P108、P109) ◇生物育成の技術の「見方・考え方」で既存の育成方法を読み解こう (P126、P127) ◇問題解決の流れ (P128、P129) ◇実習例 (P136、P147) ◇生物育成の技術 問題解決の評価・改善 (P148、P149) ◇これからの生物育成の技術 (P150、P153) ◇製品を見てみよう－エネルギー変換の技術の見方・考え方－ (P159) ◇身の回りにおけるエネルギー変換の技術 (P160、P161) ◇発電の方法 (P162、P165) ◇エネルギー変換の技術の見方・考え方で既存の製品や機器を読み解こう (P186、P187) ◇問題解決の流れ (P188、P189) ◇実習例 (P194、P201) ◇エネルギー変換の技術 問題解決の評価・改善 (P202、P203) ◇これからのエネルギー変換の技術 (P204、P207) ◇製品を見てみよう－情報の技術の見方・考え方－ (P213) ◇身の回りにおける情報の技術 (P214、P215) ◇情報の技術の見方・考え方で既存の機器やシステムを読み解こう (P246、P247) ◇問題解決の流れ (P252、P253) ◇実習例 (P256、P263) ◇問題解決の流れ (P266、P267) ◇実習例 (P270、P275) ◇情報の技術 問題解決の評価・改善 (P276、P277) ◇これからの情報の技術 (P278、P281) ◇技術分野での問題解決をふり返ろう (P286、P287) ◇さまざまな技術を組み合わせたシステム (P288、P289) ◇統合実習例 (P290、P294) <p>(40 項目)</p>

教科・種目名 技術・家庭（技術分野） 調査研究事項

調査項目	発行者名		
	2 東書	6 教図	9 開隆堂
4つの内容を体系的にとらえた学習の内容	<ul style="list-style-type: none"> ◇SDGs と Technology (P10、P11) ◇技術は夢をかなえるためにある (P14、P15) ◇技術分野の学習を始めよう (P24、P25) ◇統合的な問題解決をしよう (P266、P271) ◇技術分野の学習を終えて (P272、P275) <p>(5 項目)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇技術ではどんなことを学ぶのかな？ (目次 3、P1) ◇それぞれどんな技術があるかな？ (P4、P5) ◇夢をかなえる技術 (P246、P249) <p>(3 項目)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇技術の学習を始める前に (P6、P7) ◇よりよい生活や社会に向けて、つくられ、工夫されていく技術 (P24、P25) ◇技術分野での問題解決をふり返ろう (P286、P287) ◇さまざまな技術を組み合わせたシステム (P288、P289) ◇統合実習例 (P290、P295) <p>(5 項目)</p>

別表2

調査項目	発行者名		
	2 東書	6 教図	9 開隆堂
4つの内容ごとのページ数	A : 60 ページ B : 48 ページ C : 62 ページ D : 68 ページ	A : 56 ページ B : 42 ページ C : 60 ページ D : 74 ページ	A : 78 ページ B : 48 ページ C : 52 ページ D : 72 ページ
4つの内容ごとの基本的な用語数（索引に収録されている数）	A : 105 語 B : 61 語 C : 103 語 D : 73 語	A : 86 語 B : 38 語 C : 76 語 D : 91 語	A : 98 語 B : 53 語 C : 73 語 D : 113 語
安全に関する内容	<ul style="list-style-type: none"> ◇作業を楽しく安全に進めよう (P5、P6) ◇けがき針の注意点 (P40) ◇のこぎりびきの注意点 (P42) ◇機械加工の注意点 (P43) ◇ベルトサンダによる作業の注意点 (P45) ◇卓上ボール盤の注意点 (P46) ◇曲げ用ヒータを使用する時の注意点 (P47) ◇接着剤の注意点 (P49) ◇塗装時の注意点 (P50) ◇農薬について (P97) ◇ウシに近づくとき (P102) ◇魚の給餌について (P103) ◇電気機器を安全に使用するための技術 (P150、P153) ◇機械の共通部品と保守点検の大切さ (P164、P165) ◇部品を分解してみよう (P167) ◇はんだづけ (P180) ◇回路計の使い方 (P181) ◇情報セキュリティの仕組み (P208、P211) ◇情報モラル (P212、P217) <p>(19 項目)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇学習を楽しく安全に進めるために (P12、P13) ◇実習の安全な進め方を知ろう (P34、P35) ◇切削 (P40) ◇下穴あけ (P40) ◇塗装 (P41) ◇かんなの刃 (P56) ◇卓上ボール盤を使用する時の注意 (P57) ◇実習や見学の安全な進め方を知ろう (P84、P85) ◇培養土の袋の穴あけ (P96) ◇電気の安全な使い方を知ろう (P124、P125) ◇保守点検の大切さを知ろう (P130、P131) ◇エネルギーを変換する技術の工夫を調べ考えよう (P132) ◇実習の安全な進め方を知ろう (P136、P137) ◇はんだごてを使うとき (P140、P155) ◇電源について (P148、P151) ◇実装のしかた (P148) ◇電子部品の取り付け (P155) ◇情報セキュリティと情報モラルを知ろう (P184、P187) ◇実習の安全な進め方を知ろう (P192、P193) <p>(19 項目)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ペーパーナイフを使うとき (P17) ◇作業の安全 (P18、P19) ◇コンピュータやスマートフォンなどを使うときに注意すること (P20、P21) ◇金属の材料と加工 (P36) ◇直線に切断する手順 (P79) ◇帯のこ盤による切断 (P80) ◇かんなによる切削 (P82) ◇ベルトサンダを用いた切削の手順 (P83) ◇卓上ボール盤で穴をあける手順 (P84、P85、P93) ◇のみで溝をほる手順 (P85) ◇塗装 (P89、P97) ◇金属・プラスチックを切断する方法 (P91) ◇曲げについて (P94) ◇はんだによる接合の手順 (P96) ◇農薬の使用と安全 (P112) ◇電池の取り扱い (P167) ◇電気機器の安全な利用 (P168、P169) ◇回路計の注意点 (P177) ◇はんだづけの注意点 (P177) ◇機器の共通部品と保守点検 (P184、P185) ◇情報セキュリティ (P230、P233) ◇情報モラル (P234、239) <p>(22 項目)</p>

調査項目	発行者名		
	2 東書	6 教図	9 開隆堂
身につけた知識や技術を活用して生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして問題解決を行う題材の内容	<ul style="list-style-type: none"> ◇未来を創る技術による問題解決 (P20、P21) ◇材料と加工の技術の問題解決の工夫 (P54、P55) ◇問題の発見と課題の設定 (P58、P59) ◇解決策の構想 (1) 製作品の設計 (P60、P61) ◇解決策の構想 (2) 製作計画 (P66、P67) ◇問題解決の評価、改善・修正 (P70、P71) ◇材料と加工の技術による問題解決例 (P72、P77) ◇生物育成の技術の問題解決の工夫 (P104、P105) ◇問題の発見と課題の設定 (P106、P107) ◇解決策の構想 育成計画 (P108、P109) ◇問題解決の評価、改善・修正 (P118、P119) ◇生物育成の技術による問題解決例 (P120、P125) ◇エネルギー変換の技術の問題解決の工夫 (P166、P167) ◇問題の発見と課題の設定 (P168、P169) ◇解決策の構想 (1) 電気回路の設計・製作 (P170、P171) ◇解決策の構想 (2) 気候モデルの設計・製作 (P174、P175) ◇問題解決の評価、改善・修正 (P178、P179) ◇エネルギー変換の技術による問題解決例 (P182、P187) ◇情報の技術の問題解決の工夫 (P218、P219) ◇問題の発見と課題の設定 (P224、P225) ◇解決策の構想 双方向性のあるコンテンツの設計 (P226、P227) ◇問題解決の評価、改善・修正 (P230、P231) ◇双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決例 (P232、P237) ◇問題の発見と課題の設定 (P242、P243) ◇解決策の構想 計測・制御システムの設計 (P244、P245) ◇問題解決の評価、改善・修正 (P248、P249) ◇計測・制御のプログラミングによる問題解決例 (P250、P255) ◇総合的な問題解決をしよう (P266、P271) ◇総合的な問題解決例 (P268、P271) <p>(29 項目)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇技術の問題解決ってなに？ (P8、P9) ◇材料と加工の技術の工夫を調べ考えよう (P30、P31) ◇問題を解決する流れを考えよう (P36、P37) ◇不思議な本立てをつくってみよう (P38、P41) ◇身近な問題を解決してみよう (P42、P53) ◇調味料ホルダー (P54、P55) ◇課題例 (P62、P63) ◇2章で学んだことをまとめよう (P64、P65) ◇問題を解決する流れを考えよう (P86、P87) ◇ベビーリーフを育ててみよう (P88、P89) ◇身近な問題を解決してみよう (P90、P95) ◇ミニダイコン (P96、P97) ◇題材例 (P102、P105) ◇2章で学んだことをまとめよう (P106、P107) ◇問題を解決する流れを考えよう (P138、P139) ◇LEDをつけてみよう (P140、P141) ◇ロボットハンドをつくってみよう (P142、P143) ◇身近な問題を解決してみよう (P144、P153) ◇閉め忘れ防止オルゴール (P154、P157) ◇人型二足歩行ロボット (P158、P161) ◇題材例 (P164、P165) ◇2章で学んだことをまとめよう (P166、P167) ◇情報の技術の工夫を調べ考えよう (P188、P189) ◇問題を解決する流れを考えよう (P196、P197) ◇サイコロの目の数を当てるプログラムを作ってみよう (P198、P199) ◇身近な問題を解決してみよう (P200、P207) ◇PTA バザーの案内マップ (P208、P213) ◇題材例 (P216、P217) ◇2章で学んだことをまとめよう (P218、P219) ◇問題を解決する流れを考えよう (P222、P223) ◇制御用コンピュータを動かしてみよう (P224、P225) ◇身近な問題を解決してみよう (P226、P231) ◇自動点灯・消灯ライト (P232、P235) ◇題材例 (P238、P239) ◇3章で学んだことをまとめよう (P240、P241) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇企業では、どのように製品開発を行っているのかな？ (目次5、P1) ◇技術分野の学習の流れ (P14、P15) ◇問題解決の流れ (P16、P17) ◇問題解決の流れ (P50、P51) ◇問題の発見と課題の設定 (P52、P53) ◇構想と設計 (P54、P57) ◇実習例 (P62、P73) ◇材料と加工の技術 問題解決の評価・改善 (P74、P75) ◇材料と加工の技術の学習をふり返ろう (P98、P99) ◇問題解決の流れ (P128、P129) ◇実習例 (P136、P147) ◇生物育成の技術 問題解決の評価・改善 (P148、P149) ◇生物育成の技術の学習をふり返ろう (P150、P151) ◇問題解決の流れ (P188、P189) ◇実習例 (P194、P201) ◇エネルギー変換の技術 問題解決の評価・改善 (P202、P203) ◇エネルギー変換の技術学習をふり返ろう (P204、P205) ◇問題解決の流れ (P252、P253) ◇実習例 (P256、P263) ◇問題解決の流れ (P266、P267) ◇実習例 (P270、P275) ◇情報の技術 問題解決の評価・改善 (P276、P277) ◇情報の技術の学習をふり返ろう (P278、P279) ◇技術分野での問題解決をふり返ろう (P286、P287) ◇さまざまな技術を組み合わせたシステム (P288、P289) ◇統合実習例 (P290、P294) <p>(26 項目)</p>

調査項目	発行者名		
	2 東書	6 教図	9 開隆堂
		(35 項目)	
思考力・判断力・表現力等の育成につながるような、言語活動に関する内容	<ul style="list-style-type: none"> ◇技術室での作業の安全 (P8) ◇アイデア発見！製品調べ (P13) ◇技術分野の学習を始めよう (P24) ◇身の回りの製品に使われている材料とその加工方法 (P29) ◇木材、金属、プラスチックの特性 (P31) ◇身の回りで生かされている材料と加工の技術 (P54) ◇解決策の構想 (1) 製作品の設計 (P60、P61) ◇解決策の構想 (2) 製作計画 (P66、P67) ◇問題解決の評価、改善・修正 (P70、P71) ◇これからの材料と加工の技術 (P80) ◇これからの材料と加工の技術について考えよう (P83) ◇考えを深めよう (P85) ◇地域の特産物を調べよう (P91) ◇肥料の量の違いによる成長の差を比較しよう (P95) ◇水産生物を育てる技術 (P100) ◇生物育成の技術の問題解決の工夫 (P104) ◇問題解決の工夫を見つけよう (P105) ◇解決策の構想 育成計画 (P108、P109) ◇問題解決の評価、改善・修正 (P118、P119) ◇これからの生物育成の技術 (P128) ◇スマート農業などの生物育成の技術について調べよう (P129) ◇これからの生物育成の技術について考えよう (P131) ◇考えを深めよう (P133) ◇電気を供給する仕組み (P144) ◇解決策の構想 (1) 電気回路の設計・製作 (P170) ◇解決策の構想 (2) 機構モデルの設計・製作 (P174) ◇問題解決の評価、改善・修正 (P178、P179) ◇これからのエネルギー変換の技術について考えよう (P193) ◇考えを深めよう (P195) ◇もしも情報の技術がなかったら生活や社会はどうか (P201) ◇情報セキュリティの仕組み (P208) ◇家や学校の情報セキュリティ対策 (P211) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇1章で学んだことをまとめよう (P32、P33) ◇問題を解決する流れを考えよう (P36、P37) ◇身近な問題を解決してみよう (P42、P53) ◇2章で完成させた製作品を活用して、レポートにまとめてみよう (P60) ◇1章～3章で学習したことを思い出して、次の表をまとめよう (P68) ◇A編のまとめ (P69) ◇実習先や見学先で育てられている生物についてまとめよう (P81) ◇1章で学んだことをまとめよう (P82、P83) ◇問題を解決する流れを考えよう (P86、P87) ◇身近な問題を解決してみよう (P89、P95) ◇1章～3章で学習したことを思い出して、次の表をまとめよう (P110) ◇B編のまとめ (P111) ◇1章で学んだことをまとめよう (P134、P135) ◇問題を解決する流れを考えよう (P138、P139) ◇身近な問題を解決してみよう (P144、P153) ◇1章～3章で学習したことを思い出して、次の表をまとめよう (P170) ◇C編のまとめ (P171) ◇1章で学んだことをまとめよう (P190、P191) ◇問題を解決する流れを考えよう (P196、P197) ◇身近な問題を解決してみよう (P200、P207) ◇問題を解決する流れを考えよう (P222、P223) ◇身近な問題を解決してみよう (P226、P231) ◇1章～4章で学習したことを思い出して、次の表をまとめよう (P244) ◇D編のまとめ (P245) <p>(24 項目)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇身の回りの製品の技術 (P11) ◇材料と加工の技術の見方・考え方で既存の製品を読み解こう (P48、P49) ◇問題解決の流れ (P50、P51) ◇問題の発見と課題の設定 (P52、P53) ◇構想と設計 (P54、P57) ◇材料と加工の技術 問題解決の評価・改善 (P74、P75) ◇これからの材料と加工の技術とその活用を考えてみよう (P101) ◇学習のまとめ A 材料と加工の技術 (P102) ◇生物育成の技術の見方・考え方で既存の育成方法を読み解こう (P126、P127) ◇育成計画と育成記録 (P130、P131) ◇生物育成の技術 問題解決の評価・改善 (P148、P149) ◇これからの生物育成の技術とその活用を考えてみよう (P153) ◇学習のまとめ B 生物育成の技術 (P155) ◇エネルギー変換の技術の見方・考え方で既存の製品や機器を読み解こう (P186、P187) ◇エネルギー変換の技術 問題解決の評価・改善 (P202、P203) ◇これからのエネルギー変換の技術とその活用を考えてみよう (P207) ◇学習のまとめ C エネルギー変換の技術 (P209) ◇さまざまな個人認証技術の利点と欠点を考え、まとめてみよう (P231) ◇知的財産の利用方法や問題点について、グループで役割分担して調べてみよう (P236) ◇理解をさらに深めるために考えたり、調べたりしてみよう (P239) ◇情報の技術の見方・考え方で既存の機器やシステムを読み解こう (P246、P247) ◇これからの情報の技術とその活用を考えてみよう (P281) ◇学習のまとめ D 情報の技術 (P282) <p>(23 項目)</p>

調査項目	発行者名		
	2 東書	6 教図	9 開隆堂
	◇情報の技術を上手に使うためにどうするか (P213) ◇解決策の構想 双方向性のあるコンテンツの設計 (P226、P227) ◇問題解決の評価、改善・修正 (P230、P231) ◇解決策の構想 計測・制御システムの設計 (P244、P245) ◇問題解決の評価、改善・修正 (P248、P249) ◇これからの情報の技術 (P258) ◇これからの情報の技術について考えよう (P261) ◇考えを深めよう (P263) ◇技術分野の学習を終えて (P273、P274) (41 項目)		

別表 4

調査項目	発行者名		
	2 東書	6 教図	9 開隆堂
基礎・基本の定着を図るための学習のまとめ、練習問題の数	学習のまとめ A：大問 7 小問 12 B：大問 7 小問 12 C：大問 7 小問 12 D：大問 7 小問 9 合計 大問 28 小問 45	学習のまとめ A：大問 13 小問 4 B：大問 11 小問 4 C：大問 14 小問 4 D：大問 13 小問 4 合計 大問 51 小問 12	学習のまとめ A：大問 8 小問 13 B：大問 6 小問 7 C：大問 8 小問 19 D：大問 8 小問 11 合計 大問 30 小問 50
生徒が興味関心に応じて取り組める参考実習例の内容と数	A：13 項目 ◇木の板とプラスチックの板で作るフォトスタンド (P38、39) ◇リモコンラック (P72) ◇プリント棚 (P73) ◇小物ラック (P73) ◇ロッカー棚 (P73) ◇踏み台 (P74) ◇絵本ラック (P75) ◇プリンター (P75) ◇調味料ラック (P75) ◇パソコンラック (P76) ◇ブックラック (P77) ◇ペンスタンド (P77) ◇植木鉢台 (P77) B：11 項目 ◇リーフレタス (P120) ◇ハツカダイコン (P121) ◇ジャガイモ (P121) ◇ダイコン (P121) ◇ナス (P122) ◇イネ (P123) ◇イチゴ (P123) ◇ラッカセイ (P123) ◇パンジー (P124) ◇キク (P125) ◇キンギョ (P125) C：12 項目 ◇ブザーと光センサの活用 (P182) ◇人がいないのに照明がついているとブザーで知らせる	A：5 項目 ◇不思議な本立てをつくってみよう (P38、P39) ◇調味料ホルダー (P54、P55) ◇便利なプランターラック (P62) ◇2 段小物ラック (P62) ◇パンチングメタルスタンド (P62) B：7 項目 ◇部屋の中の小さなスペースを利用してベビーリーフを育ててみよう (P88、P89) ◇ミニダイコン (P96、P97) ◇ミニトマト (P102、P103) ◇コマツナの鉢栽培 (P104) ◇低温処理によるチューリップとパンジーの寄せ植え (P104) ◇乳牛の飼育実習 (P105) ◇アワビを育てる技術 (P105) C：7 項目 ◇ロボットハンドをつくってみよう (P142、P143) ◇閉め忘れ防止オルゴール (P154、P157) ◇人型二足歩行ロボット (P158、P161) ◇ハンディ扇風機 (P164) ◇手回し発電ライト (P164) ◇電動ロボットハンド (P165) ◇ハンカチ折りたたみマシン (P165) D：6 項目 ◇サイコロの目を当てるプログラムをつくってみよう (P198、P199) ◇PTA バザーの案内マップ (P208、P213) ◇私の町の天気予報 (P216) ◇簡単チャット (P217)	A：7 項目 ◇小さなスペースで机の上を整理・整頓できるマルチラック (P62、P63) ◇家族で使える充電しやすいタブレットスタンド (P64、P65) ◇小さな子でも使いやすいふみ台 (P66、P67) ◇調理スペースが広がる調味料ラック (P68、P69) ◇見ばえよく植物を飾れる鉢入れ (P70、P71) ◇必要なものがまとめられるカレンダーつきメモホルダー (P72) ◇分類して収納できる文房具の整理箱 (P73) B：8 項目 ◇ミニトマトの栽培 (P136、P137) ◇リーフレタスの養液栽培 (P138、P139) ◇ラディッシュの容器栽培 (P140、P141) ◇キュウリの容器栽培 (P142、P143) ◇チューリップの栽培 (P144、P145) ◇イネの容器栽培 (P146) ◇乳牛の飼育 (P147) ◇水産生物の栽培 (P147) C：4 項目 ◇非常時に光る防災用ライト (P194、P195) ◇フォークリフトつき自動車モデル (P196、P197) ◇必要なときに動作させる LED ライト (P198、P199) ◇お手軽電動クリーナー (P200、P201) D：16 項目 ◇安心して使えるメッセージアプリ (P256、P257) ◇ネット対戦型タイピング練習 (P258) ◇防災地図アプリ (P259) ◇ルート検索アプリ (P260)

調査項目	発行者名		
	2 東書	6 教図	9 開隆堂
	(P183) ◇点滅させて節電する照明 (P183) ◇温度差があると、ファンを回す (P183) ◇風量調節扇風機 (P183) ◇自動点灯 LED ライト (P184) ◇地震が起きたらブザーで知らせる (P185) ◇一定温度以上でライト点灯 (P185) ◇さくらんぼを収穫する機構モデル (P185) ◇カム機構を利用したおもちゃ (P187) ◇往復スライダクランク機構を利用した掃除ロボット (P187) ◇平行クランク機構を利用した昇降装置 (P187) D: 24 項目 ◇翻訳アプリ (P232) ◇伝言板 (P233) ◇使用状況を確認できるシステム (P233) ◇野菜の名前と値段を表示するシステム (P234) ◇市民プールの使い方チャットポット (P235) ◇ネットショッピングの体験サイト (P235) ◇デジタル防災マップ (P236) ◇避難所で必要としていることを書きこむ掲示板 (P237) ◇水害ハザードマップ (P237) ◇自動的に風を起こすシステム (P250) ◇光を1日中当てるシステム (P251) ◇音声操作で照明の電源を入れる (P251) ◇自動で人についてくる台車システム (P252) ◇夜になると自動的に押しボタン式になる歩行者信号機システム (P253) ◇自動的に収穫するロボット (P253) ◇不審音な窓の動きを検知すると音や光で周囲に知らせるシステム (P254) ◇地震が起きたら、避難出口を光と音で知らせるシステム (P255) ◇人を感知すると、昇降装置が出てくる (P255) 統合的な問題解決 6 項目 ◇リーフレタスの植物工場 (P268) ◇育ちの悪いところを色で計測して自動的に追肥する	◇自動点灯・消灯ライト (P232、P235) ◇自動かん水機 (P238、P239)	◇無人レジシステム (P260) ◇図書検索システム (P261) ◇高齢者に使いやすい避難所案内アプリ (P262、P263) ◇お掃除ロボットモデル (P270、P271) ◇ドアの開閉を検知するセキュリティ対策 (P272) ◇自分の動きを計測するトレーニング補助装置 (P273) ◇電子料金自動収受システム (ETC) のモデル (P274) ◇AI を使ったごみの分別判定システム (P275) ◇カギを使わない安全なドアの開閉システム (P275) 統合的な学習 3 項目 ◇目の不自由な人が安全に外出を楽しめるデジタル白杖 (P290、P291) ◇ミニ植物工場 コマツナの苗の育成 (P292、P293) ◇自動運搬ロボットモデルの構想 (P294、P295)

調査項目	発行者名		
	2 東書	6 教図	9 開隆堂
	(P269) ◇土の乾燥状況に応じて、自動的にかん水する (P269) ◇未知の場所を、自動で障害物を回避しながら調査するロボット (P270) ◇壁を感知しながら進むロボット (P271) ◇水の上を、障害物を回避しながら進むロボット (P271)		
他者と対話や協働できるような学習の内容	◇未来に向けて、持続可能な社会のためにどのような技術が必要か話し合しましょう。(P80) ◇肥料の量の違いによる成長の差を比較しよう (P95) ◇図 1 のグラフを見て、分かったこと、気づいたことを話し合しましょう。(P100) ◇露地栽培と植物工場を比較し、それぞれにどのような技術が使われているかを話し合しましょう。(P104) ◇写真を見て、どのような技術が使われているか話し合ってみましょう。(P105) ◇グループで育成計画を発表し合い、必要に応じて育成計画を修正しましょう。(P109) ◇未来に向けて、持続可能な社会のために、どのような生物育成の技術があるとよいかを話し合しましょう。(P128) ◇発電と送電の仕組みを体験しよう。(P145) ◇課題を解決するために、どのような動きをする機構モデルにしたいかを考え、グループで話し合しましょう。(P174) ◇問題解決の成果をPRしよう。(P179) ◇もしも情報の技術がなかったら生活や社会はどうか。(P201) ◇情報を守るために、どのような方法が考えられるかを話し合しましょう。(P208) ◇家や学校の情報セキュリティ対策 (P211) ◇情報の技術を上手に使うためにどうするか。(P213) ◇設計を振り返り、完成したコンテンツと比べて、必要な機能を全て実現しているか確かめましょう。(P230) ◇未来に向けて、持続可能な社会のためにどのような情報の技術があるとよいかを話し合しましょう。(P258) (16 項目)	◇製作品を活用して、レポートにまとめてみよう (P60) ◇取り組んだ活動を振り返って、レポートにまとめてみよう (P100) ◇完成させた製作品を試用して、レポートにまとめてみよう (P162) ◇「エネルギー変換の技術」が発達したことで、生活や社会に生じたプラス面・マイナス面を考えてみよう。キーワードをヒントにして話し合おう。(P170) ◇完成させた作品を試用して、レポートにまとめてみよう (P214) ◇「情報の技術」が発達したことで、生活や社会に生じたプラス面・マイナス面を考えてみよう。キーワードをヒントにして話し合おう。(P244) (6 項目)	◇これからの材料と加工の技術とその活用を考えてみよう。それをみんなと情報を交換してみよう。(P101) ◇これからの生物育成の技術とその活用を考えてみよう。みんなと情報を交換してみよう。(P153) ◇これからのエネルギー変換の技術とその活用を考えてみよう。みんなと情報を交換してみよう。(P207) ◇SNS を利用する際に、どのようなことに注意する必要があるのか話し合ってみよう。(P234) ◇知的財産を図 1 のように利用する場合の利用方法や問題点について、グループで役割分担して調べてみよう。(P236) ◇これからの情報の技術とその活用を考えてみよう。みんなと情報を交換してみよう。(P281) (6 項目)

調査項目	発行者名		
	2 東書	6 教図	9 開隆堂
「発展」などの記載のあるものの内容	<p>A：5 項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇これからの材料と加工の技術（P80、P81） ◇デジタルファブ리케이션（P86） ◇海洋プラスチック問題の解決（P86） ◇CLT 建築（P87） ◇ユニバーサルデザイン（P87） <p>B：5 項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇これからの生物育成の技術（P128、P129） ◇アニマルウェルフェア（P134） ◇魚が食べられなくなる？（P134） ◇農福連携（P135） ◇森林と私たちの生活（P135） <p>C：5 項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇これからのエネルギー変換の技術（P190、P191） ◇洋上風力発電（P196） ◇水素エネルギー（P196） ◇モビリティの進歩（P197） ◇世界のエネルギー問題の解決（P197） <p>D：5 項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇これからの情報の技術（P258、P259） ◇AI と私たちの生活（P264） ◇データサイエンス（P264） ◇メタバース（P265） ◇ボディシェアリング（P265） 	<p>A：1 項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇社会の発展と材料と加工の技術（P66、P67） <p>B：1 項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇社会の発展と生物育成の技術（P108、P109） <p>C：1 項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇社会の発展とエネルギー変換の技術（P168、P169） <p>D：1 項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇社会の発展と情報の技術（P242、P243） 	<p>A：1 項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇材料と加工の技術と私たちの未来（P100、P101） <p>B：1 項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇生物育成の技術と私たちの未来（P152、P153） <p>C：2 項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇LED ランプ内の仕組み（P171） ◇エネルギー変換の技術と私たちの未来（P206、P207） <p>D：1 項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇情報の技術と私たちの未来（P280、P281）
技術を工夫・創造する等の記載のある内容	<ul style="list-style-type: none"> ◇材料と加工の技術の問題解決の工夫（P54、P55） ◇材料と加工の技術の最適化（P78、P79） ◇これからの材料と加工の技術（P80、P83） ◇生物育成の技術の問題解決の工夫（P104、P105） ◇生物育成の技術の最適化（P126、P127） ◇これからの生物育成の技術（P128、P131） ◇エネルギー変換の技術の問題解決の工夫（P166、P167） ◇エネルギー変換の技術の最適化（P188、P189） ◇これからのエネルギー変換の技術（P190、P193） ◇情報の技術の問題解決の工夫（P218、P219） ◇情報の技術の最適化（P256、P257） ◇これからの情報の技術（P258、P261） 	<ul style="list-style-type: none"> ◇材料と加工の技術の工夫を調べ考えよう（P30、P31） ◇社会の発展と材料と加工の技術（P66、P68） ◇生物を育てる技術の工夫を調べ考えよう（P80、P81） ◇社会の発展と生物育成の技術（P108、P110） ◇エネルギーを変換する技術の工夫を調べ考えよう（P132、P133） ◇社会の発展とエネルギー変換の技術（P168、P170） ◇情報の技術の工夫を調べ考えよう（P188、P189） ◇社会の発展と情報の技術（P242、P244）（8 項目） 	<ul style="list-style-type: none"> ◇材料と加工の技術の見方・考え方で既存の製品を読み解こう（P48、P49） ◇これからの材料と加工の技術（P98、P101） ◇生物育成の技術の見方・考え方で既存の育成方法を読み解こう（P126、P127） ◇これからの生物育成の技術（P150、P153） ◇エネルギー変換の技術の見方・考え方で既存の製品や機器を読み解こう（P186、P187） ◇これからのエネルギー変換の技術（P204、P207） ◇情報の技術の見方・考え方で既存の機器やシステムを読み解こう（P246、P247） ◇これからの情報の技術（P278、P281）

調査項目	発行者名		
	2 東書	6 教図	9 開隆堂
	(12 項目)		(8 項目)

別表 6

調査項目	発行者名		
	2 東書	6 教図	9 開隆堂
他教科との関連を示す学習の内容	<p>A : 4 項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇身の回りの材料と加工の技術（中 1 理科）(P28) ◇金属の特性（中 1 理科）、（中 2 理科）(P34) ◇プラスチックの特性（中 3 理科）(P36) ◇等角図、第三角法による正投影図（中 1 数学）(P63) <p>B : 3 項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇身の回りの生物育成の技術（小 5 社会）(P90) ◇作物の育成環境を調節する技術（中 2 理科）(P92) ◇作物の成長を管理する技術（中 2 理科）(P94) <p>C : 8 項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇身の回りのエネルギー変換の技術（中 2 理科）、（中 3 理科）(P138) ◇発電の仕組みと特徴（小 6 理科）（中 2 理科）(P140) ◇さまざまな発電方法（中 2 理科）(P141) ◇送電・配電（中 2 理科）(P145) ◇電気回路の仕組み（小理科）（中 2 理科）(P148) ◇電気部品の定格（中 2 理科）(P152) ◇運動エネルギーへの変換と利用（中 3 理科）(P156) ◇リンク機構で動きを伝える仕組み（数学）(P161) <p>D : 3 項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇情報セキュリティ対策のためのシステム（数学）(P210) ◇双方向性のあるコンテンツとは（小算数）(P220) ◇計測・制御システムとは（小理科）(P238) 	<p>B : 5 項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇生物を育てる技術の利用（小理科）(P72) ◇生物を育てる技術の利用（小社会）(P72) ◇生物を育てる技術の利用（小生活）(P72) ◇生物を育てる技術の利用（中理科）(P72) ◇生物を育てる技術の利用（中社会）(P72) <p>C : 5 項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇エネルギー変換の技術（小理科）(P114) ◇エネルギー変換の技術（中理科）(P114) ◇電気に関する技術（中理科）(P116) ◇電気回路のしくみ（中理科）(P118、119) ◇電気の安全な使い方（中理科）(P124) <p>D : 7 項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇情報の技術（小理科）(P174) ◇情報の技術（小算数）(P174) ◇情報の技術（小社会）(P174) ◇情報の技術（小道徳）(P174) ◇情報の技術（中数学）(P174) ◇情報の技術（中社会）(P174) ◇情報の技術（中道徳）(P174) 	<p>A : 6 項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇材料と加工の技術（小 3、6 図画工作）(P27) ◇材料と加工の技術（小 4、5 算数）(P27) ◇材料と加工の技術（小 4 理科）(P27) ◇材料と加工の技術（小 5 社会）(P27) ◇材料と加工の技術（中数学）(P27) ◇材料と加工の技術（中理科）(P27) <p>B : 10 項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇生物育成の技術（小 1、2 生活）(P107) ◇生物育成の技術（小 3、6 理科）(P107) ◇生物育成の技術（小 5 社会）(P107) ◇生物育成の技術（中社会）(P107) ◇生物育成の技術（中理科）(P107) ◇作物の栽培の技能（小 5 理科）(P114) ◇水産生物の栽培（小 5 社会）(P120) ◇水産生物の栽培（中 2 社会）(P120) ◇森林の育成技術（小 5 社会）(P124) ◇育成計画と育成記録（小 5 理科）(P131) <p>C : 5 項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇エネルギー変換の技術（小 3、4、6 理科）(P159) ◇エネルギー変換の技術（小 5 社会）(P159) ◇エネルギー変換の技術（中社会）(P159) ◇エネルギー変換の技術（中理科）(P159) ◇電気エネルギーを変換する技術（理科）(P170) <p>D : 7 項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇情報の技術（小 5 社会）(P213) ◇情報の技術（小 5 算数）(P213) ◇情報の技術（小 6 理科）(P213) ◇情報の技術（中社会）(P213) ◇情報の技術（中美術）(P213) ◇情報の技術（中道徳）(P213) ◇情報の表現の工夫（中美術）(P251)

教科・種目名 技術・家庭（技術分野） 調査研究事項

調査項目	発行者名		
	2 東書	6 教図	9 開隆堂
特別の教科道徳との関連を示す学習の内容	<ul style="list-style-type: none"> ◇まとめと発表の仕方ポイント (P7) ◇生物育成の技術と環境との関わり (P130) ◇情報セキュリティと情報モラル (P208、P217) <p>(3 項目)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇情報セキュリティと情報モラル (P184、P187) <p>(1 項目)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇コンピュータやスマートフォンなどを使うときに注意すること (P20、P21) ◇情報機器を使った、生活や社会とのかかわり方 (P22、P23) ◇生物育成がもたらす多面的な機能 (P157) ◇情報セキュリティと情報モラル (P230、P239) <p>(4 項目)</p>
キャリア教育や職業についての理解を深める内容	<ul style="list-style-type: none"> ◇シェアバイク運営 (P21) ◇作業療法士 (P56) ◇プロダクトデザイナー (P56) ◇宿泊施設設計者 (P81) ◇化学メーカー研究者 (P86) ◇建設会社開発者 (P87) ◇文具メーカー開発者 (P87) ◇酪農ファーム経営 (P99) ◇大分県農林水産研究指導センター (P101) ◇ミニトマトの生産者 (P105) ◇長ネギの生産者 (P105) ◇養鶏農家 (P134) ◇水産業者 (P134) ◇障がい者就労施設 (P135) ◇林業 (P135) ◇製品評価技術基盤機構 (P153) ◇ねじ製造業 (P165) ◇エンジニア (P167) ◇洋上風力発電施設開発者 (P196) ◇電気設備メーカー開発者 (P196) ◇自動車部品メーカー開発者 (P197) ◇化学工業メーカー開発者 (P197) ◇総合防災・減災研究者 (P260) ◇情報サービス企業開発者 (P264) ◇情報サービス企業研究員 (P264) ◇メタバース運営 (P265) ◇ボディシェアリング開発者 (P265) ◇「はやぶさ2」プロジェクトマネージャー (P267) <p>(28 項目)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇日本の木の文化を生かして (P22) ◇ジャガイモゴロゴロ、自動砂落とし貯蔵庫 (P61) ◇コンピュータによる設計と3Dプリンタを活用した魅力あるものづくり (P64) ◇世代を超えて受け継がれる基盤・将棋盤 (P65) ◇町工場技術デザイン思考 世界へ (P67) ◇LEDの光でカレイの成長を促進させる技術 (P83) ◇ソーラーシェアリングを通して日本の農家を応援したい (P101) ◇本当においしい豚肉を食卓へ (P107) ◇ロボットコンテストにチャレンジ (P163) ◇衣服を立体的に編む技術 (P167) ◇一つの工具が空の安全を守る (P167) ◇だれもが思い通りに移動できる未来へ (P169) ◇国産手術支援ロボット (P173) ◇技術で障がいのある人に勇気を (P191) ◇アプリで解決！もう駐輪場に迷わない (P215) ◇プログラム開発は基礎的な学びから (P219) ◇宇宙から水産業・農業を支える技術 (P241) ◇すべての人たちに、声をとどける (P243) ◇先輩からのメッセージ (畜産、林業、水産、工業、普通科) (P250、P251) ◇品種の研究開発を通じて世界に栄養と笑顔を届ける (P253) <p>(20 項目)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇日本一かわいいモノをつくる家具屋さんを目指して (P104) ◇好きなことを仕事に、造船の道へ (P105) ◇地域の状況やニーズに合わせた野菜の栽培にチャレンジ (P156) ◇電力を使わないアシストギヤ (P210) ◇電池を使わないトイレ用リモコン (P211) ◇ゲームアプリの開発現場を見てみよう (P253) ◇プログラミングロボットの開発者の視点 (P267) ◇プログラミングロボットの開発者が中学生だったころ (P284) ◇やりたいことを実現させよう (P285) <p>(9 項目)</p>

教科・種目名 技術・家庭（技術分野） 調査研究事項

調査項目	発行者名		
	2 東書	6 教図	9 開隆堂
伝統の技術に関する内容	<ul style="list-style-type: none"> ◇いろいろな接合技術 (P49) ◇丈夫な構造 (P79) ◇新しい材料と加工の技術の開発 (P81) ◇生物育成の技術と環境との関わり (P130) (4項目)	<ul style="list-style-type: none"> ◇日本の木の文化を生かして (P22) ◇鋳造、鍛造 (P25) ◇法隆寺の建築技術 (P29) ◇木造建築技術で伝統構法を受け継ぐ (P252) (4項目)	<ul style="list-style-type: none"> ◇姫路城 (P26) ◇木材が曲がる性質を利用した製品 (P31) ◇明治～昭和初期の学校の机 (P48) (3項目)

別表 7

調査項目	発行者名		
	2 東書	6 教図	9 開隆堂
ユニバーサルデザイン化に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ◇基本要素を学習の流れに合うように配置し、全ページ統一することで見やすいレイアウトになっている。 ◇すべての書体に、ユニバーサルデザインフォントを使用し、幅広い色覚特性に適應できるような配色とデザインになっている。 ◇小学校で学習していない全ての漢字にふりがながついている。 (3項目)	<ul style="list-style-type: none"> ◇文字が大きく、重要語句を青色の太字にし、紙面の構成が統一されたレイアウトになっており、見やすいように工夫されている。 ◇書体はユニバーサルデザインフォントを使用し、カラーバリアフリーの観点から配色が考えられている。 ◇見開きごとに必要な漢字にはふりがなを振っている。 (3項目)	<ul style="list-style-type: none"> ◇単語が途中で改行されないようにレイアウトしており、単語を認識しやすくしている。 ◇全面的にユニバーサルデザインフォントを使用し、本文では明朝系、図や参考ではゴシック系などを使い分けており、色覚に特徴のある生徒にも配慮したカラーユニバーサルデザインを使用している。 ◇弱視の特性があっても見やすいように文章を大きめのゴシック体にしたり、余計な色を省略したりしている。 (3項目)
脚注の数	★ (マーク) 61	★ (マーク) 87	* (マーク) 20
付属物 (別冊) の有無とその内容	無	スキルアシスト ◇各内容の輝度技能を習得するための解説が掲載されている。	無
デジタルコンテンツ (二次元コード等) 等の工夫	◇二次元コードコンテンツ数が 412 箇所あり、基礎技能や実験の動画、疑似体験できるシミュレーション、思考ツール、ワークシート、クイズ、資料、図巻、WEB サイト、他教科リンクが用意されており、個別最適な学びに活用できるようになっている。	◇二次元コードコンテンツが 121 箇所あり、問題解決を学べるプログラム、ワークシート、題材例制作動画・画像、基礎技能動画・画像、インタビュー動画、資料動画・画像などが用紙されており、個別最適な学びに活用できるようになっている。 二次元コードに掲載されているコンテンツの内容を簡単に記載している。	◇二次元コードコンテンツ数が 400 箇所以上あり、学習課題コンテンツ、動画コンテンツ、資料コンテンツ、操作コンテンツ、ワークシートが用意されており、個別最適な学びに活用できるようになっている。